

平成 25 年度 農薬展示試験成績 ー協会受託試験ー

ベネセット（カンパネラ）水和剤散布によるブドウべと病防除

一般社団法人岩手県植物防疫協会

仲谷房治・藤根勝栄

1. 目的：防除効果及び薬害の検討
2. 試験実施場所：花巻市葡萄が丘農業研究所
3. 供試品種：メルロー（欧州系品種）、14 年生、露地栽培、垣根仕立て、2.5m×3m
4. 薬剤散布月日：6 月 26 日及び 7 月 8 日
5. 調査月日：8 月 1 日
6. 発生状況：多発生

試験開始時においては、発生が認められなかったが、7 月に入ると降雨日が続き、しだいに蔓延して多発した。

7. 試験結果

供試薬剤	希釈倍数(倍)	反復	調査葉数	発病程度別葉数					発病葉率 (%)	発病度	防除価	薬害
				無(0)	少(1)	中(3)	多(5)	甚(7)				
ベネセット水和剤	1000	I	100	90	10	0	0	0	10.0	1.4		—
ベンチアバリカルブ		II	100	87	13	0	0	0	13.0	1.9		—
イソプロピル3.75% マンゼブ70%		平均	100						11.5	1.7	95.4	
対照 ジマンダイセン水和剤	1000	I	100	79	21	0	0	0	21.0	3.0		—
マンゼブ 75.0%		II	100	76	24	0	0	0	24.0	3.4		—
		平均	100						22.5	3.2	91.3	
無処理		I	100	36	7	27	25	5	64.0	35.4		
		II	100	30	6	37	19	8	70.0	38.3		
		平均	100						67.0	36.9		

考察

1. ベネセット水和剤は、対照薬剤ジマンダイセン水和剤に比較してまさる防除効果を示した。
2. 欧州系品種はべと病防除が重要であるが、この時期は他の病害との同時防除が必要であり、べと病専用剤では対応できない。マンゼブとの混合剤である本剤は落花 10 日以降の総合防除剤として活用できると思われる。